

# 2021 年度事業報告

自：2021年1月1日～至：2021年12月31日

公益財団法人スペシャルオリンピックス日本

## I. 基本方針

本年度は、スペシャルオリンピックス日本(SON)の新ビジョンに基づいたアクションプランを策定するとともに、非対面型のイベント等、ウィズコロナでの事業を以下の通り実施した。

### 【SON のミッション、ビジョン】

#### <ミッション>

知的障害のある人たちに年間を通じて、オリンピック競技種目に準じた様々なスポーツトレーニングと競技の場を提供し、参加したアスリートが健康を増進し、勇気を奮い、喜びを感じ、家族や他のアスリートそして地域の人々と、才能や技能そして友情を分かち合う機会を継続的に提供すること。

#### <ビジョン>

スペシャルオリンピックス日本は、知的障害のある人々とのスポーツを通じた様々なユニファイド活動により、多くの気づきと行動を生み出します。

ステイトメント: 多様な人々が生きる社会の実現を目指す

スローガン: 「Be with all」

**※本ビジョンを推進する事業を「Be with all 事業」と称する。**

### 【アクションプラン 2021-2025】

#### ①事業

##### <イノベーション事業>

- ・“Be with all”の普及促進
- ・ICTを活用した事業推進

##### <スポーツ事業>

- ・スポーツ活動の充実
- ・持続可能な競技会/大会の開催

#### ②組織

- ・組織全体の適正なガバナンスの確保と最適な新組織体制の構築
- ・国内 SO 組織の再定義

#### ③経営

- ・経営、財務資源の最適化
- ・人材マネジメント

## II. 競技会開催事業

### 1. 2022 年第 8 回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・広島 開催準備

2022 年 11 月の開催に向け大会実行委員会を設立し、競技団体や競技会場の折衝、大会開催記者発表などの準備活動を行った。また、本大会は新型コロナウイルス感染症対策を重要視した、安心安全な大会運営を目指して準備を進める。

#### 【準備活動】

- |              |                   |
|--------------|-------------------|
| 4 月 20 日(火)  | 大会記者発表            |
| 11 月 30 日(火) | 大会要項、競技要項、クォータの案内 |
| 12 月 10 日(金) | 大会要項についてのオンライン説明会 |

## 2. 2024 年スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム 開催準備

2024 年の冬季ナショナルゲームの開催について、地区組織へのアンケート及び、開催方法等について検討を行った。

## Ⅲ. 国際大会への代表選手団の派遣事業

本年は、「国際大会への代表選手団の派遣事業」は実施しなかった。

## Ⅳ. 知的障害者の地域スポーツ活動振興の拠点となる地区組織等への支援事業

### 1. 地区連絡協議会、全国事務局長会議

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により本会議の開催を中止としたが、本年はオンラインにて開催し、SON 新ビジョンの共有や、ウィズコロナにおける地区組織の取り組み事例の紹介など SO ムーブメントの促進に寄与する情報共有等を行った。

### 2. 地区組織の認定及び更新、地区組織強化支援

＜地区組織の認定更新＞

各地区組織から提出された 2020 年度事業報告・決算報告、2021 年度事業計画・予算等の総会資料を精査するとともに、世界共通で行われているアスリート活動調査等の提出をもって地区組織の認定更新を行い、認証状を交付した。

＜地区組織強化支援＞

地区組織におけるガバナンス強化のため、公益財団法人日本スポーツ仲裁機構協力のもと、スポーツ団体ガバナンスコードに関する説明会を実施した。(1 月 27 日)

### 3. 地区組織自己評価基準の策定および運用

約 30 項目の評価基準で地区組織自らが組織の評価を行うことで、組織的な成熟度や活動の進達度を客観的に把握するために本年も自己評価を実施した。

### 4. 地区委員会およびブロック連絡協議会の開催

＜地区委員会＞

全国 6 ブロックの代表者と SON の理事が出席する地区委員会を、オンラインにて毎月定例で開催し、年間を通じて設定したテーマおよび時宜に即したトピック等を議題として意見交換や情報共有を行った。定期的なコミュニケーションの機会を通じ、SON と地区間のコンセンサスを図るとともに、ブロック代表者が理解を深めながらブロック内の地区組織への情報展開や共有に努めた。

＜ブロック連絡協議会＞

ブロック内の地区組織事務局及びスポーツプログラムに関する代表者が出席するブロック連絡協議会を、上半期、下半期の年 2 回オンラインで開催し、SON が策定したアクションプランの共有や地区組織における課題などについて意見交換を行った。これにより SON と地区組織間のコミュニケーションを円滑にするとともに、実践に基づく現場の知識・ノウハウの共有が図られ、全国ネットワークにおける情報共有と地区組織の現場における活動推進力が強化された。

ブロック名	上半期ブロック会議	下半期ブロック会議
北海道・東北ブロック	3月28日(日)	9月4日(土)
関東ブロック		11月14日(日)
東海・北信越ブロック		11月20日(土)
近畿ブロック		11月14日(日)
中国・四国ブロック		10月2日(土)
九州・沖縄ブロック		12月5日(日)

## 5. スポーツプログラム(SP)委員会および競技部会活動

正副 SP 委員長会議等の定期開催及び各競技部会による Drop Box 活用によるクラウドでの資料共有、メーリングリスト利用による情報共有の円滑化を進めることにより、国内スポーツ事業全般の普及推進を図った。

## 6. 助成

- 1) 地区競技会推進支援制度：7地区組織に322,000円を助成

本年は、新型コロナウイルス感染症の影響によりウィズコロナにおけるスポーツイベントの再開を助成対象としたため、地区組織主催の競技会や記録会等の感染予防対策等の経費として下記の通り助成を行った。

	助成の対象となった大会・競技会	助成対象地区	助成金額
1	2021年度陸上競技 競技会	SON・宮城	24,000円
2	2021年SON・栃木 第8回地区大会	SON・栃木	50,000円
3	2021年SON・神奈川 競技会・スポーツフェスタ	SON・神奈川	100,000円
4	第13回SON・岡山地区大会	SON・岡山	33,000円
5	2021年SON島根サッカー競技会	SON・島根	50,000円
6	第15回SON・長崎夏季地区大会	SON・長崎	35,000円
7	2021年SON・熊本地区大会	SON・熊本	30,000円

- 2) 地域 SO 活動への特別助成：SON・新潟 400万円、SON・愛知 500万円

## 7. 指導者管理データベースシステムの導入の検討

地区組織に所属する指導者のうち、SONで認定した指導者(認定コーチ、トレーナー)の管理を行うためのデータベース(クラウド)として、セールスフォースを活用し認定指導者の登録・更新等の管理の最適化を図った。セールスフォースは、コーチクリニックの申請、トレーナー派遣等のコーディネートに使用していたが、機能を有効利用することで、認定指導者の管理データベースとしての活用につながった。

## V. 知的障害者のスポーツ参加及び健康増進推進事業

### 1. ユニファイドスポーツ

＜オンラインマラソンの開催＞

昨年に続き、10月2日から11月30日の期間で第2回SONオンラインマラソンを開催した。今回は“Run with all”をテーマに、オンライン上で、スペシャルオリンピックスの活動が行われている「201の国と地域」を回ることを目標に実施した。

参加者：5,044名 総走行距離：324,886km

## 2. 健康増進推進事業

### <コーチ向けオンラインヘルスセミナー>

1. 10月23日(土) テーマ:アスリートの口腔外傷時の対応 / 参加者数: 76名
2. 11月13日(土) テーマ:新型コロナウイルスの最新情報とワクチンについて / 参加者数: 50名

### <アスリート向けオンラインヘルスセミナー>

1. 9月26日(日) 1部 テーマ:目の見え方について  
2部 テーマ:新型コロナウイルスとワクチンについて  
参加者数: 47名

### <メディカルフォームの改訂>

SO活動に参加する上で、安全に活動できる状態かを判断できる簡潔な書類であり、かつ、SONと地区組織間で情報共有をスムーズに行うために書式を統一することを目的にメディカルフォーム改訂版を作成した。

## 3. アスリートリーダーの育成

### <アスリートアンバサダー>

アスリートの成長の機会として、アスリート自身が広報活動を行う”アスリートアンバサダー”の第1期メンバーによる活動を行った。活動の前半は、毎月のミーティングで、テーマに合わせて自分の考えや経験を言葉で伝える練習に取り組み、その成果の発表の場として、「全国代表者会議」にて自己紹介を発表した。

また「アスリートストーリー発表会」にて司会を担当するなど、多くの方々の前でアスリートたちが自分たちの言葉で伝える機会をひろげた。活動の後半では、アスリートアンバサダーがSO活動に関わるさまざまな方に話を聞いて、それを発信するという“インタビュー企画”を実施した。

2021年12月末をもって第1期を終了し、2022年1月からは新しいメンバーで、第2期目を始動する。

#### ①オンラインミーティングの実施

- 1月16日(土)、2月13日(土)、3月13日(土)、4月10日(土)、5月2日(日)、5月15日(土)  
6月5日(土)、7月3日(土)、7月24日(土)、8月21日(土)、9月11日(土)、10月16日(土)、  
11月20日(土)、12月4日(土)

#### ②アスリートアンバサダーによる広報活動

- ・アルパルク東京×SON 『Special Olympics Day』にて、SONの新スローガン“Be with all”について、ビデオメッセージでPR
- ・「SON×JAL フレンドミーティング」にて、アスリートを代表し、イベントの感想とお礼メッセージを担当
- ・SON オンラインマラソン 2021 開会式にて、昨年参加したオンラインマラソンへの感想と、今年の意気込みを発表
- ・その他支援企業・団体に向けてのメッセージ動画撮影や、SON主催イベントのPR等、広報活動

### <アスリートストーリー発表会>

アスリートリーダーシッププログラム(ALPs)の一環として「アスリートストーリー発表会 2021」をオンラインにより開催した。アスリートアンバサダー2名が進行役を務め、地区組織に所属するアスリート10名がそれぞれのテーマに沿った体験談等の発表を行い、アスリートの情報発信・交流の場としてアスリートが成長する機会となった。

- ・開催日時:9月18日(土)10:30-12:30
- ・配信方法:Youtube ライブ

- ・同時視聴者数:742名
- ・発表テーマ:SOの活動を通して変化・成長したこと/私が今チャレンジしていること/  
あなたにとってスポーツとは?～障害のある人たちのスポーツの未来～
- ・参加アスリート:10名(SON・宮城、SON・新潟、SON・大阪、SON・和歌山、SON・広島、SON・福岡、  
SON・山口、SON・熊本)
- ・司会アスリート:2名(アスリートアンバサダー)

#### 4. ヤングアスリート及びファミリーサポートネットワーク

ヤングアスリートプログラム普及のため、下記を実施した。

- ・SO国際本部主催ヤングアスリートオンラインウェビナー参加(各国の事例紹介):2回
- ・コーチクリニック座学オンライン化の実施

## VI. ボランティア、指導者、審判員等育成事業

### 1. 指導者養成

ボランティアコーチの育成と既存トレーナーのレベル及びスキルアップを目的とし、各種研修事業を開催した。

- 1) オンラインコーチクリニック(ゼネラルオリエンテーション・アスリート理解) : 3回開催 / 参加者 475名
- 2) オンラインコーチクリニック(認定コーチ更新講習) : 7回開催 / 参加者 1,114名
- 3) オンラインコーチクリニック(ユニファイドスポーツ) : 3回開催 / 参加者 181名
- 4) オンラインコーチクリニック(競技チア) : 2回開催 / 参加者 70名
- 5) オンラインコーチクリニック(フロアボール) : 2回開催 / 参加者 79名
- 6) コーチクリニック競技実技(対面) : 26回開催(10地区) / 参加者 363名

※競技座学はオンデマンド(YouTube 動画視聴)で実施、ただし体操競技のみ Zoom ミーティングで実施した。

### 2. スポーツプログラム委員会全国会議

各地区組織からスポーツプログラム委員会の代表者が参加し、SP委員会体制と役割、コーチ研修制度の新制度の運用、競技部会の活動の推進、成果発表の場の拡充、新競技の導入、コロナ禍でのスポーツプログラム、メディカルチェックフォームに関する知識・ノウハウの共有を行い、SONと地区組織における目標の共有と競技会運営等における課題解決に向けた取り組みについて、意見交換を行った。

日程:3月27日(土) 会場: Web 会議システム

### 3. 全国トレーナー連絡協議会

スペシャルオリンピックス活動の普及とコーチ育成を掌るトレーナーとSON、またはトレーナー間の情報交換およびスキルアップを目的として、スポーツコンプライアンス研修(外部講師)、SOI および SONの動向、コーチ研修制度改定についての説明、競技別会議(ブレイクアウトセッション)を実施した。

日程:11月20日(土) 会場: Web 会議システム

参加者:71名

## VII. 広報・啓発事業

新たに”Be with all”事業として、オンラインで全国のアスリートと支援企業社員はじめ、多くのかたが交流出来る支援企業とのフレンズミーティングやオンラインマラソンをはじめとした様々なオンラインでの取り組みで

相互理解の場を創出した。また、これらの事業を通じた広報・啓蒙イベント等を実施することによりスペシャルオリンピックスの理解と広報力の向上に努めた。

## 1. 広報・啓発

“Be with all”のメッセージを中心に様々なオンラインでの取り組みを展開し広報活動を実施した。また、第1期アスリートアンバサダーによる広報活動としてインタビュー企画を、年間を通じて実施した。SO活動にかかわる地区組織事務局のかたやアスリート、そしてドリームサポーターに活動の魅力やその体験を聞き伝えたインタビューの様子はSONホームページに報告書掲載とともに、スペシャルオリンピックス日本 YouTubeチャンネルにも投稿し発信をおこなった。

### 1) 2022年第8回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・広島の大大会広報活動

県内外への積極的な認知拡大と広報のため、開催地の首長や大会サポーターに出席いただき、大会開催記者発表を行った。当日は、内閣府および広島県感染拡大防止ガイドラインに則り、最大限の注意を払い実施した。

開催日：4月20日(火)

開催場所：おりづるタワー(広島市)

取材メディア：テレビ：3局(県内テレビ局) / 新聞社：8社

### 2) Be with all 事業・企業連携

支援企業社員と全国のアスリートがオンラインを通じて相互理解し交流する”Be with all 事業”を積極的に展開した。また、Bリーグやプロスポーツチーム・団体との連携事業を行い全国のアスリートがスポーツから離れずモチベーションを保ち続ける場を創出した。

#### ① 「Zoomで楽しくユニファイドトレーニング第2弾 supported by ANYTIME FITNESS(3月13日)

SON支援企業であるFast Fitness Japan(エニタイムフィットネス)の店舗にSONアスリートやファミリーを招待し、トレーナーとトレーニングする「ユニファイドトレーニング」を定期実施した。昨年に引き続き、コロナ禍により店舗で実施できない代わりに、自宅のできるオンライントレーニングを開催した。

参加人数：112名

#### ② Be with all 「SON×JAL フレンズミーティング」(3月20日)

SON支援企業である日本航空(JAL)と連携し、リモート工場見学や、知的障害のある人やそのご家族が抱える、飛行機に搭乗する際に不安を解消するため、飛行機やサービスについて学ぶ機会を提供した。また、交流会も実施し、JAL社員とSONのアスリートがお互いを知ること場所を創出した。

参加者：100名(50組)

#### ③ アルバルク東京×SON 『Special Olympics Day』を開催(3月21日)

有森裕子理事長とドリームサポーターの小塚崇彦氏が、アルバルク東京の公式戦ハーフタイムショーに参加し、SONの活動をPRした。また、SONが掲げた新スローガン『Be with all』について、アスリートアンバサダー 安田翔飛氏からのビデオメッセージを放映した。

#### ④ 国際ダンスデー！(4月29日)

世界のSOアスリートとサポーターが一緒になることを目的に、SO Cheer とアルバルク東京チアのコラボパフォーマンスをSNSにて発信した。

#### ⑤ One heart, one mind(4月29日)

新型コロナウイルス感染拡大により、直接会ってエールを交換し合うことが出来ない中、世界、日本のSO

アスリートとトヨタ社員が”バーチャルハイファイブ“で繋がる「 One Heart ,One Mind 」の企画を実施した。  
コラボレーション映像と合わせて、モザイクアートの作成も行った。

集まった写真:262 枚(トヨタ自動車社員 129 名、SO のアスリート 133 名)

参加したプログラム:SON、SONA(SO 北米)、SOEE(SO 欧州・ユーラシア)

⑥ 「SON × B.LEAGUE みんなでモザイクアートを完成させよう！」(5 月 29 日)

新型コロナウイルス感染症拡大でスポーツができる場が少なくなっている状況下、 ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ(B.LEAGUE) と 共にスポーツを通じて希望を見出してきた。「みんなが輝き、誰ひとり取り残されない社会、未来」を創り上げていくために、アスリートやその他多くの方々の願いや想いがこもった絵を 214 枚集め、1つのモザイクアートを完成させた。モザイクアートは特設サイトに掲示し、有森理事長から島田チェアマンへモザイクアートフラッグを贈呈した。

⑦ SON×MSI 柔道オンラインイベント(11 月 20 日)

三井住友海上火災保険株式会社(MSI)、MSI 女子柔道部と協働し、SON アスリートと知的障害のある方を対象にオンライン柔道イベントを実施した。オリンピックの方々とは SON アスリートをつなぎ、「柔道」をテーマにオリンピックズトーク、柔道技クイズ等、オンラインでも楽しめるプログラムを配信した。

参加者:MSI 女子柔道部員・関係者 12 名

平岡拓晃氏(SON ドリームサポーター、SON 理事)

SON アスリート 50 名

⑧ PR 映像(Be with all)の制作

SON が目指す社会をより多くの人にイメージしてもらえる PR 映像「Be with all～多様な人々が生きる社会の実現へ～」を株式会社 AOI Pro 支援のもと制作した。

3)SO 応援プログラム説明会

SON 支援企業であるリネットジャパンが実施している「SON 応援プログラム」の説明会を他の SON 支援企業向けに実施した。また、企業での取り組み例として トヨタ自動車での事例発表も行った。

参加人数:17 名(SON 支援企業 6 社)

## 2. 資金調達(寄付・マーケティング)

長引くコロナ禍で競技会やイベントを開催できないなかで、さまざまなユニファイド活動により多くの気づきと行動を生み出す”Be with all 事業”を始動し支援企業と「交流・相互理解・機会やサービスの提供」という新たな価値を提供し SDGs への貢献を実現することにより、今後につながる資金調達活動を実施した。

<東京マラソン 2021 チャリティ事業>

9 月 11 日、東京マラソン 2020、2021 出走予定のチャリティランナー向けに有森理事長、瀬古利彦氏と一緒に走るランニングランイベントを行うなど、コロナ禍でも独自のチャリティ活動を行った。

※東京マラソン 2020 は新型コロナウイルスの影響により中止。2021 年大会については 2021 年 9 月に延期されたのち、国内の感染状況悪化により 2022 年 3 月に再延期。

## 3. 他団体との連携

### 1) 教育機関との連携によるユニファイドスクール活動

「産・官・学」連携モデルとなる教育機関とのリレーションづくりやリサーチ、活動のプログラム案の検討を進めた。



## 2) 競技団体等との関係強化

日本パラスポーツ協会、日本スポーツ仲裁機構、日本スポーツチア&ダンス連盟、  
日本フロアボール連盟 など

## Ⅷ. 調査研究事業

### <周年記念誌の発行・配布>

SON25 年間の活動を中心に、創生期から現在までの歴史と今後の展望をまとめた記念誌を制作することで、知的障害者スポーツの理解促進及び普及・振興に貢献する資料として記録を残すことができた。また、知的障害者スポーツのさらなる振興を目的とし、全国の SO 関係者、行政、自治体、障害者スポーツ関連団体、大学等の障害者スポーツに関係する機関にも広く配布した。

タイトル「スペシャルオリンピックス日本 25 周年記念誌」

仕様:A4 サイズ / 全カラー印刷 / 76 ページ / 部数 1,500 冊(無償配布)

### <研究発表>

東洋大学福祉社会開発研究センターと連携し、アスリートの ICT 利用及びアスリートアンバサダーの活動を中心とした下記研究発表を行った。

- ・ 1 月 30 日(土) 障がいサブユニット公開研究会シンポジウム(オンライン)  
テーマ「コロナ禍における ICT & IoT 利活用による障害者支援」  
発表 「スペシャルオリンピックスにおける ICT を活用したアスリートの取組み」
- ・ 8 月 24 日(火) 障がいサブユニット第 2 回研究会(オンライン)  
発表 「スペシャルオリンピックス日本 アスリートアンバサダーの取組み  
～知的障がい者の意思表示出へのアプローチ～」
- ・ 12 月 3 日(金)障がいサブユニット障がい者週間記念公開研究会(オンライン)  
発表「知的障がいのある人たちへのオンライン・アドボカシー活動  
～スペシャルオリンピックス日本のアスリートアンバサダー報告～」

※同公開研究会では、アスリートアンバサダー 1 名が登壇し、事務局担当者と共に発表を行った。

## Ⅺ. 会議開催等

### <評議員会>

定時評議員会 日時：3 月 26 日(金)14:00～15:30 場所：Web 会議システムにより実施

### <理事会> 全 8 回

第 1 回理事会	日時：3 月 10 日(水)18:30～20:45	場所：Web 会議システムにより実施
第 2 回理事会	日時：3 月 26 日(金)15:30～16:00	場所：Web 会議システムにより実施
第 3 回理事会	日時：4 月 9 日(金)	書面決議
第 4 回理事会	日時：5 月 27 日(木)18:30～20:30	場所：Web 会議システムにより実施
第 5 回理事会	日時：8 月 19 日(木)18:30～20:05	場所：Web 会議システムにより実施
第 6 回理事会	日時：10 月 19 日(火)18:30～21:20	場所：Web 会議システムにより実施
第 7 回理事会	日時：11 月 17 日(水)18:30～19:20	場所：Web 会議システムにより実施
第 8 回理事会	日時：12 月 15 日(火)18:30～20:05	場所：Web 会議システムにより実施

<理事向け研修会・勉強会>

スポーツ団体ガバナンスコードに関する研修会

日時:1月20日(水)18:30~19:30 場所:Web会議システムにより実施

SON組織・ガバナンスに関する勉強会

日時:6月30日(水)18:30~19:30 場所:Web会議システムにより実施

<専門委員会等>

【地区委員会】全12回

月1回Web会議システムを使用しての会議を開催した。

1月16日(土)、2月13日(土)、3月20日(土)、4月24日(土)、5月15日(土)、6月12日(土)、  
7月17日(土)、8月21日(土)、9月11日(土)、10月16日(土)、11月27日(土)、12月18日(土)

【スポーツプログラム委員会】

Web会議システムを使用して、スポーツプログラム委員会正副委員長会議を下記の日程で開催した。

2月27日(土)、5月29日(土)、8月21日(土)、10月2日(土)、11月27日(土)

【ヘルシー・アスリート・プログラム委員会】

Web会議システムを使用して、ヘルシー・アスリート・プログラム委員会会議を下記の日程で開催した。

4月3日(土)

【調査研究委員会】

Web会議システムを使用して下記の日程で会議を開催した。

日時:1月15日(金)、2月6日(土)、10月14日(木)

【スポーツウェルネスチーム】全9回

月1回Web会議システムを使用しての会議を開催した。

1月28日(木)、3月25日(木)、4月27日(火)、5月18日(火)、7月15日(木)、8月26日(木)、  
9月21日(木)、10月21日(木)、12月02日(木)

【COVID-19対応検討会議】全11回

新型コロナウイルス感染症への対応を検討するため、Web会議システムを使用して開催した。

2月4日(木)、3月18日(木)、4月22日(木)、5月20日(木)、6月24日(木)、7月15日(木)、  
8月12日(木)、9月30日(木)、10月28日(木)、11月18日(木)、12月23日(木)

- ・「公益財団法人スペシャルオリンピックス日本の事業における新型コロナウイルス感染拡大防止に関する基本方針」策定

【ガバナンス検討会議】

4月28日(水)、8月18日(水)、10月8日(金)